

ビジネスにもアートが必要!?

近年、ビジネスの観点から美術鑑賞や芸術的素養の重要性を語る書籍が多く出版されています。なぜ今、アートとビジネスが一緒に取り上げられるようになったのでしょうか？芸術の知識や「アート思考」はどのようにビジネスと繋がるのでしょうか？

SIAF2020企画ディレクターの天野太郎と、アートを仕事・生活・勉強といった人生に役立てるワークショップなどを実践している竹林陽一氏(㈱クリエイティブ・ジャングル代表取締役)が、「クリエイティブティ」「コミュニケーション力」「リーダーシップ」「ウェルビーイング」「人工知能」などのキーワードを盛り込みながら、ビジネスにアートがどのように役立つのかについて語り合います。

札幌市図書・情報館 × 札幌国際芸術祭 共催講座 / SIAF2020 ディレクターズトーク第3弾

スピーカー／

天野太郎(SIAF2020企画ディレクター[現代アート担当]／統括ディレクター)

竹林陽一(株式会社クリエイティブ・ジャングル 代表取締役)



横浜市民ギャラリーあざみ野主幹学芸員。多摩美術大学などで非常勤講師を務める。美術評論家連盟所属。北海道立近代美術館勤務を経て、1987年の横浜美術館開設準備室より同館で国内外での数々の展覧会企画に携わる。「横浜トリエンナーレ2005」でキュレーター(2011年、2014年はキュレトリアルヘッド)を務めた。SIAF2020では、ディレクターチームの統括も務める。

天野太郎

あまの
たろう

竹林陽一

たば
やち
りし

2001年からのニューヨーク生活をきっかけに、生活に身近な芸術に感動を覚え、徐々にアートに触れ始める。帰国してモルガン・スタントン、ゴールドマン・サックスにて金融商品開発等に従事した後、農業ベンチャー、アート解説コンテンツ制作会社で役員を務めた。2016年㈱クリエイティブ・ジャングル創業。東京大学工学部卒、米コロンビア大学大学院博士課程中退(修士号取得)。



日時 / 2019年6月6日(木) 18:30-20:00(開場18:00)

会場 / 札幌市民交流プラザ1階 SCARTSコート(札幌市中央区北1条西1丁目)

定員 / 80名(申込不要・当日先着) 参加無料

図書・情報館から

ビジネス×アートを深く知りたい方に

- 秋元雄史『武器になる知的教養 西洋美術鑑賞』大和書房 (2018)
- 岡崎大輔『なぜ、世界のエリートはどんなに忙しくても美術館に行くのか?』SBクリエイティブ (2018)
- 木村泰司『名画の読み方 世界のビジネスエリートが身につける教養』ダイヤモンド社 (2018)
- ニール・ビンディ『世界のビジネスリーダーがいまアートから学んでいること』クローズメディア・パブリッシング(インプレス) (2018)
- 山口周『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?経営における「アート」and「サイエンス」』光文社 (2017)

現代アートの読み解きには

- スージー・ホッツ『5歳の子どものようにできそうでできないアート 現代美術100の読み解き』東京美術 (2017)
- 原田マハ・高橋瑞木『すべてのドアは、入り口である。現代アートに親しむための6つのアクセス』祥伝社 (2014)

上記書籍は図書・情報館で閲覧できます。

札幌国際芸術祭 <http://siaf.jp>

札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival 略称:SIAF)は3年に1度、札幌を舞台に開催される芸術の祭典です。2014年に初開催し、過去2回は夏から秋にかけて実施してきましたが、3回目となるSIAF2020ではこれまで以上に札幌の特徴や魅力を生かした芸術祭にするため、雪の降る冬季に開催します。現代アートやメディアアートの紹介などを通じて市民の創造性を高めるとともに、街の風土や北方圏の文化などにも向き合い、札幌の持つ魅力を広く国内外に発信する機会としていきます。

お問い合わせ / 札幌国際芸術祭実行委員会事務局

札幌市中央区北一条西2丁目 札幌時計台ビル10階 札幌市民文化局 国際芸術祭担当部内
TEL:(011)211-2314(平日8:45-17:15) E-mail:info@siaf.jp

主催:札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市 共催:札幌市図書・情報館、公益財団法人札幌市芸術文化財団

SIAF2020

札幌国際芸術祭

Sapporo International Art Festival